

(報道発表資料)

2018年12月13日

西日本電信電話株式会社京都支店  
京阪バス株式会社

## 観光バス及び路線バス向けのコミュニケーションロボットを活用した 新たなソリューションの実現に向けた連携協定の締結について

西日本電信電話株式会社京都支店（京都支店長：大野 敬、以下 NTT西日本）と京阪バス株式会社（代表取締役社長：鈴木 一也、以下、京阪バス）は、2018年12月12日に、観光バス及び路線バス向けのコミュニケーションロボットを活用した新たなソリューションの実現に向けた連携協定を締結いたしました。

### 1. 協定締結に至った背景

京阪バスでは、訪日外国人観光客の増加に対する多言語対応ニーズの高まりや人材不足によるバス乗務員の減少に対し、ICT・AIなどを活用した観光バス事業の活性化や自動運転導入に向けて、様々な取り組みを行っています。

一方、NTT西日本は、「社会の課題解決に貢献する企業」としてこれまで培ってきた知見や技術を活かし、地域活性化をはじめ、様々なお客様の事業活動を推進するための支援をしています。

このような背景を受け、バス利用者の更なる利便性の向上等様々な課題に対し、ICT等技術を活用して取り組むことについて合意し、今回の連携協定を締結いたしました。

### 2. 連携協定の内容と各社の役割

主な内容および役割は、次のとおりです。

- (1) コミュニケーションロボットを活用した観光バス・路線バス向けの新たなソリューションの実現に向けて相互に連携し協力する
- (2) 京阪バスは、自社が抱える問題の解決に向けて具体策を検討し、NTT 西日本は、その検討に必要な助言及び情報提供を行う
- (3) 具体的な取り組み内容及び実施方法、その他前項の目的を達成するために必要と認める事項については、両者協議の上、決定する

【別紙】連携協定に基づく取り組み内容

以上

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、予めご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

# 【別紙】連携協定に基づく取り組み内容

NTT西日本京都支店と京阪バスは、観光バス及び路線バス向けのコミュニケーションロボットを活用した新たなソリューションの実現に向けて以下の取り組みを行います。

## 【フェーズ1】 自動ガイド 技術検証

- ✓ 自動ガイド開発
- ✓ GPS技術検証

2018年度4Q

## 【フェーズ2】 自動ガイド トライアル

- ✓ 京都市内での自動ガイドのトライアル実施
- ✓ 採算性も含めたビジネス性の確認

2018年度4Q～2019年度1Q

## 【フェーズ3】 自動ガイドの サービス化

- ✓ 京都市内での自動ガイドのサービス化

2019年度1Q～

## 【フェーズ4】 自動ガイドの 多機能化

- ✓ 車内での対話、緊急時の対応など自動運転バスに求められるコミュニケーションロボットの多機能化

将来

### <自動ガイド 実現イメージ>

コミュニケーションロボットSota®※が、GPSと連動した観光案内などを多言語で実施します。また、対話や緊急時の対応などの多機能化を検討していきます。

※Sota®はガイストン株式会社の登録商標です。

「Sota」がご案内します！

